

このコラムは、日本語の仕組みや使い方などを考えるコーナーです。  
どうぞ、コーヒータイムのときにでも、お読み下さい。

ことばのコラム ひとくちメモ (282)

## 頭字語

夕食のあと、タモツ君のおじいさんとおばあさんが話しています。

「日本語ではどちらも頭字語とうじごといって区別しないけれど、英語では一字一字を読むのがイニシャルイズム initialism、つづり字読みをするのがアクロニム acronymなんだね。VIP は、initialism でブイアイピーと言うのが正式のようだけれど、今では広くビップと言うようになっている acronym だ。initialism になるか acronym になるかは長さではないようだね。母音が含まれていると、つづり字読みになりやすいという傾向があるようだけれど、よくは知らない。」

「四字以上の initialism って、ありますか？」

「多くはないね。耳にしたことがあるのは、Organization for Economic Cooperation and Development の OECD、Atomic Bomb Casualty Commission の ABCC、self-service discount department store の SSDDS ぐらいかな。」

頭  
字  
語

イニシャルイズム

**initialism** (アルファベット一字一字を読む)

エヌ エイチ ケー    オーイーシーディー    ユーエスエー    エフビーアイ  
例：NHK、OECD、USA、FBI など

ア ク ロ ニ ム

**acronym** (アルファベットをつづり字読みする)

ユ ネ ス コ    ユ ニ セ フ    ビ ッ プ  
例：UNESCO、UNICEF、VIP など



OECD は「経済協力開発機構」、ABCC は「原爆傷害調査委員会」、SSDDS はセルフ・サービス方式を採用した安売り百貨店のことですね。

頭字語が initialism か acronym かに分かれる理由は、文字の長さだけではないようだね。

